

環境調査結果のお知らせ

令和7年9月25日10時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で140 cells/mL確認されました。シャットネラ属は100 cells/mL（警戒基準値）を上回っていますので、十分注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	深度	プランクトン			
	(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	シャットネラ属	タカヤマ属	珪藻
A 鳴無 (4.0m) 【10:05】	0	0	9	0	-
	2	0	16	0	-
	5	0	44	0	-
	底層 8.5	0	2	0	-
B 中学校前 (4.0m) 【10:17】	0	0	25	0	30
	2	0	140	0	90
	5	0	7	0	100
	10	0	0	0	0
	底層 11.7	0	0	0	0
C 目ノクソ (4.5m) 【10:32】	0	0	9	0	-
	2	0	25	0	-
	5	0	3	0	-
	10	0	0	0	-
	底層 13.8	0	0	0	-
D 福良 (4.0m) 【10:45】	0	0	23	0	-
	2	0	0	0	-
	5	0	1	0	-
	10	0	0	0	-
	底層 10.5	0	0	0	-
E 光松 (4.1m) 【10:59】	0	0	0	0	190
	2	0	0	0	190
	5	0	0	0	210
	10	0	0	0	50
	底層 16.2	0	0	0	40
F 大鹿 (4.0m) 【11:08】	0	0	1	0	-
	2	0	0	0	-
	5	0	0	0	-
	10	0	0	0	-
	底層 15.8	0	0	0	-

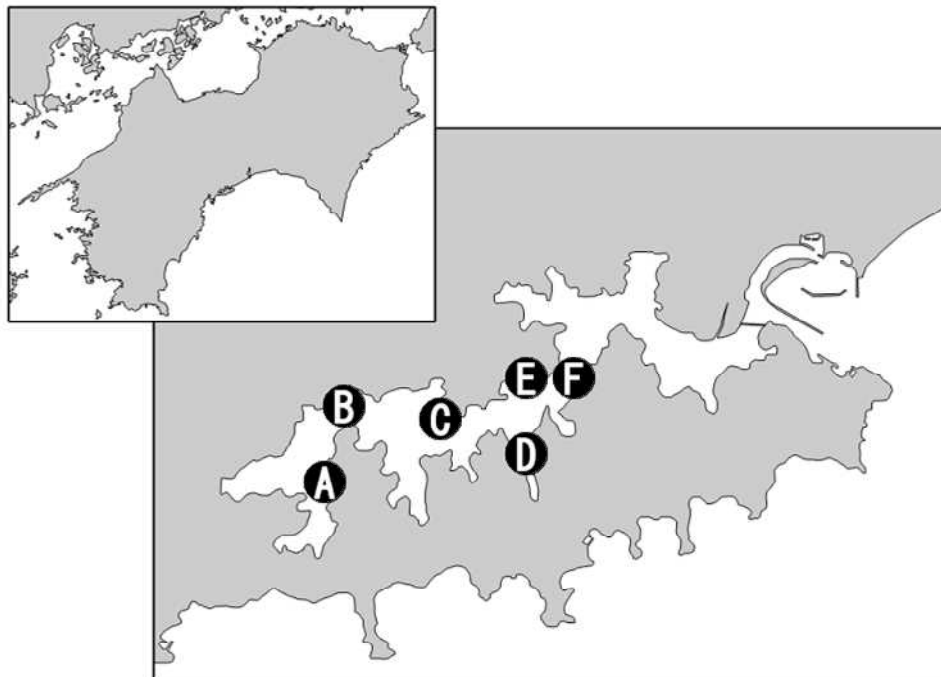
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				浦ノ内湾
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 鳴無

B: 中学校前

C: 目ノクソ

D: 福良

E: 光松

F: 大鹿